

JA こうか花野果倶楽部員

近江下田焼陶房

【プロフィール】

1750年頃（江戸時代中期）より続く近江下田焼。今の代の陶工は陶歴約35年、この道一筋でやってきました。小学生の頃、親に連れられ尋ねた窯元で見た職人さんの姿と、下田焼の色に心惹かれ、学校を出たら下田焼の職人になりたい、と強く思いました。全ての工程がほぼ手作業によるもので、下田焼の特徴の一つです。藍色顔料（呉須ごす）は独自の配合で作られ、代々受け継がれてきたものです。主に日常生活で使う食器を作陶していますが、飽きがこず割れにくく、盛り付けたお料理をひきたたせるとご好評を頂いております。使い手の心に寄り添い、使いやすい食べやすい器を作ることを使命と考え、今も修行中!!日々頑張っています!!

